



Innovation

Create the Future

協会案内

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

Computer Software Association of Japan

<http://www.csa-j.jp/>

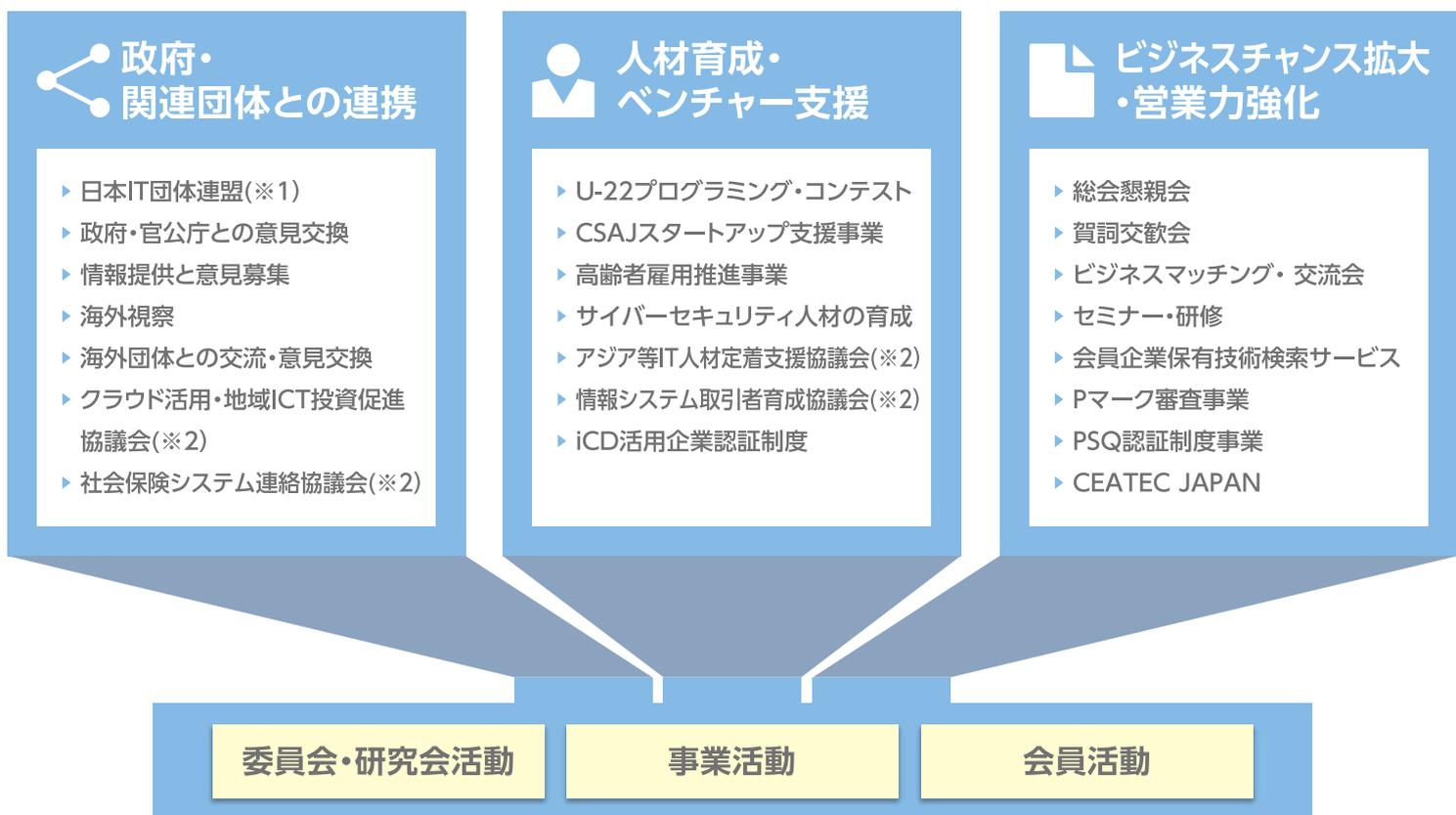
Innovation Create the Future

CSAJは、自社で市場ニーズを分析し、企画、開発、商品化した既成ソフトウェア（企画開発型ソフトウェア）を販売、あるいはそれを利用したサービスを提供している企業を中心とした団体です。

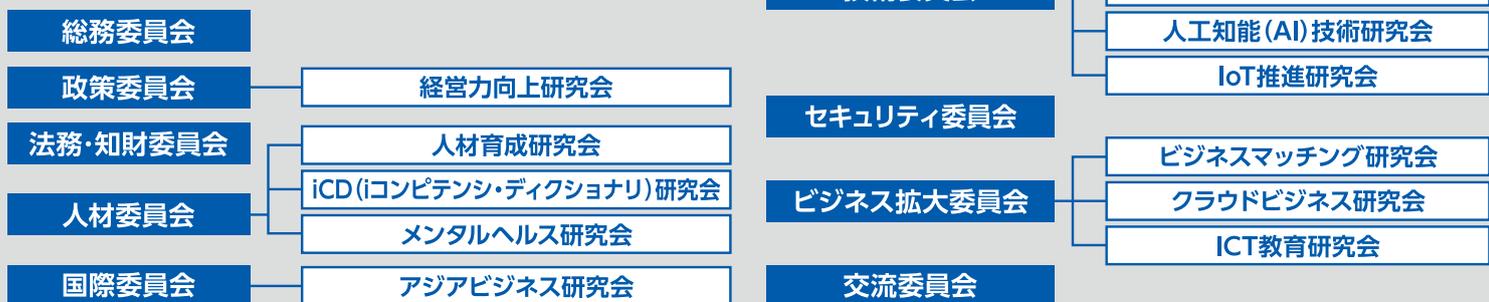
われわれCSAJは、「シンクタンク化」、「グローバル化」、「ビジネスチャンス拡大」の3つの方針を掲げ、イノベーションとIT化の促進を通じて我が国経済の発展と国民生活の向上に寄与してまいります。



会長 荻原 紀男
株式会社豆蔵ホールディングス
代表取締役社長



委員会・研究会活動



※1 「日本IT団体連盟」とは

IT関連団体の連合体として、我が国のIT産業の健全な発展に貢献するとともに、世界最高水準のIT社会の構築を目指すため、政府との双方向のコミュニケーションを実現しながら積極的に提言等を行い、もって我が国の経済・社会、国民生活の向上に寄与することを目的に設立予定。

※2 協会が携わっている団体

- ・ アジア等IT人材定着支援協議会
- ・ クラウド活用・地域ICT投資促進協議会
- ・ 情報システム取引者育成協議会
- ・ 社会保険システム連絡協議会



CSAJが展開する各種事業活動

CSAJではソフトウェア産業の健全な発展を目的に、各種事業活動を展開しています。

 <p>CSAJ スタートアップ支援事業 ソフトウェア分野での起業成功者を多数擁するCSAJの特徴を活かし、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる」好循環を創り出すことを目的に、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供しています。</p>	
 <p>プライバシーマーク審査事業 プライバシーマーク指定審査機関として、CSAJの正会員及び準会員を対象に、プライバシーマーク審査の実施や各種ご相談を受けております。</p>	 <p>PSQ認証制度事業 国際規格ISO/IEC25051に沿って第三者機関が評価することにより、ソフトウェアの「安心・安全・高品質」を証明し、品質の見える化、品質説明力強化を実現します。</p>
 <p>CEATEC JAPAN CPS/IoTにより社会や産業が大きく変革する可能性と、それを支える日本のIT・エレクトロニクス業界の力を結集し、国内外へアピールする展示会を主催しています。</p>	 <p>U-22 プログラミング・コンテスト 能力ある若手プログラマ発掘を目的としたプログラミング・コンテストの運営を、経済産業省から引き継ぎました。このコンテストを通じて、若い技術者が日本にイノベーションをもたらすことに期待しています。</p>



CSAJ会員のメリット

CSAJには、ソフトウェア産業の発展に向けて、共通の認識をもつさまざまな会員が所属しています。入会することで、こうしたメンバーとの人的交流が深められるだけでなく、多くのビジネスチャンスを引き出す活動に参加することができます。

○ビジネスマッチング・交流会

委員会・研究会や懇親会のほかに、会員企業のビジネス拡大を目的とした企画を多数ご用意しています。

- アライアンスビジネス交流会(年5回程度)
- 他団体と共催の営業商談会(不定期)
- エグゼクティブセミナー
- 会員交流会
- 会長杯親睦会 他

○セミナー・研修

CSAJ では様々なセミナーや研修を企画し、情報を発信しています。また、グローバル化が叫ばれる昨今、海外の先進企業を視察するツアーも企画・開催しています。

○その他各種サービス

- ▶ 会員企業保有技術検索サービス
- ▶ 会員からのお知らせ
- ▶ CSAJ NEWS / CSAJ めるまが
- ▶ CSAJ 会議室利用

○研究会活動

複数の会員企業が集まり、主体性をもって自由に活動できます。

運営は、研究会主査(会社)が中心となり、会員向けの情報発信や活動費が発生する場合などのサポートは事務局が行います。

「この指とまれ!!」で研究会設立

CSAJでは、「この指とまれ!!」方式で会員企業が自ら自由な発想で、研究会を立ち上げることができます。(ただし、正会員2社以上必要)1社だけではできないことでも、様々な業種業態の会員同士が力を合わせることで可能性が広がります。



入会金・年会費

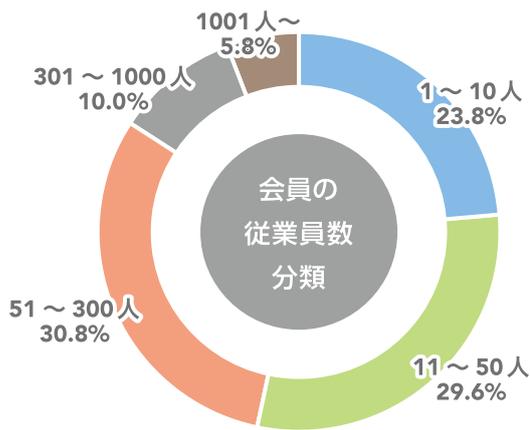
会員区分	年会費	入会金	会員区分	年会費	入会金	
正会員	60,000円 (年間売上高5千万円未満)	30,000円	一般賛助会員	1口350,000円とし1口以上	100,000円	
	150,000円 (年間売上高5千万円以上1億円未満)		特別賛助会員	1口350,000円とし2口以上		
	250,000円 (年間売上高1億円以上5億円未満)	100,000円	賛助会員	行政会員 (都道府県)	無料	
	350,000円 (年間売上高5億円以上10億円未満)			行政会員 (市区町村)		1口50,000円とし1口以上
	450,000円 (年間売上高10億円以上)			試験会場会員	1口60,000円とし1口以上	30,000円
			準会員	期間限定無料 (年間売上高1億円未満 又は従業員20人未満/最長1年間)	無料	
				入会月		期限
				4月~9月		翌3月末まで
				10月~翌3月	翌9月末まで	

※入会キャンペーンやプライバシーマークの審査を前提とした入会などの特別な措置がございますので、CSAJ Webサイトをご参照ください。

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)は、コンピュータソフトウェア製品に係わる企業が集まり、ソフトウェア産業の発展に係わる事業を通じて、我が国産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。

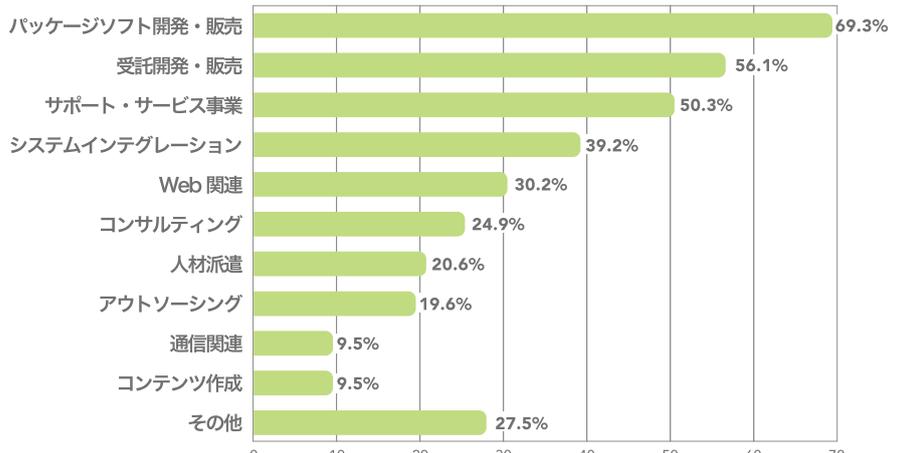
沿革

1982.5	ソフトハウス等22社により「日本パソコンソフトウェア協会」設立
1985.10	ソフトウェア法的保護監視機構設置
1986.2	社団法人として認可「日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会」に改称
1986.4	東京都小型コンピュータソフトウェア産業健康保険組合設立(現・関東ITソフトウェア健康保険組合)
1989.10	東京都小型コンピュータソフトウェア産業厚生年金基金設立(現・関東ITソフトウェア厚生年金基金)
1990.10	「CADインストラクター認定試験」(現・CAD利用技術者試験)開始
1991.3	ネットワーク協議会設立(現・一般財団法人インターネット協会)
1993.4	違法コピー対策プロジェクト設置
1993.11	株式会社システムソリューションセンターとちぎ(第三セクター)設立
1994.1	「パソコン財務会計主任者試験」(現・会計ソフト実務能力試験)開始
1999.8	準会員制度(期間限定無料会員制度)発足
2000.6	行政会員制度(都道府県・市区町村対象)発足
2003.6	試験会場会員制度発足
2003.10	「CAD利用技術者基礎試験」開始
2003.12	「3次元CAD利用技術者試験」開始
2004.3	「JPSAアライアンス大賞」創設
2006.7	「社団法人コンピュータソフトウェア協会」名称変更認可
2007.7	日本ユースウェア協会(JUA)と統合
2007.7	「プライバシーマーク指定審査機関」認定
2009.2	一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)を外部団体として設立
2010.5	「情報システム取引者育成協議会」設立
2010.6	「情報システム取引者育成プログラム」制度発足
2011.4	「東日本大震災ICT支援応援隊」設立に参画
2012.4	一般社団法人へ移行
2013.6	「PSQ認証制度」運用開始
2014.3	「U-22プログラミング・コンテスト」運営事務局設置
2014.4	和田成史会長(現名誉会長)、藍綬褒章受章
2015.4	「CSAJスタートアップ支援事業」開始
2015.6	「CSAJスタートアップファンド投資事業有限責任組合」設立
2015.8	「マイナンバー対応ソフトウェア認証」制度運用開始
2015.11	襟川恵子名誉顧問、藍綬褒章受章
2015.11	「アジア等IT人材定着支援協議会」設立
2015.12	「CSAJ Startup Demo Day 1st」開催(東京ミッドタウン)



平成27年度(2016年3月現在) N=240(複数回答)

正会員の業種・業態分類



平成27年度(2015年12月現在) N=189(複数回答)

協会概要

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

Computer Software Association of Japan
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル4F
TEL:03-3560-8440 / FAX:03-3560-8441

会長 荻原 紀男
株式会社豆蔵ホールディングス 代表取締役社長
設立年月 1986年(昭和61年)2月
会員数 466社・団体(内正会員389社、平成28年4月現在)



平成28年4月作成